

お口の健康情報室

子供は転倒のリスクが大き
く、うまく身を守ることがで
きません。そのため、身体
他の部分と比べて歯をけがす
ることが多くあります。歯が
折れたり、歯ぐきから出血し
たりするため、子供もも保護
者も気が動転しがちですが、
早めの適切な対応がその後の
治療結果に影響します。
またけがした時は症状が軽
い場合でも、その後に歯が変

歯のけが すぐ受診を

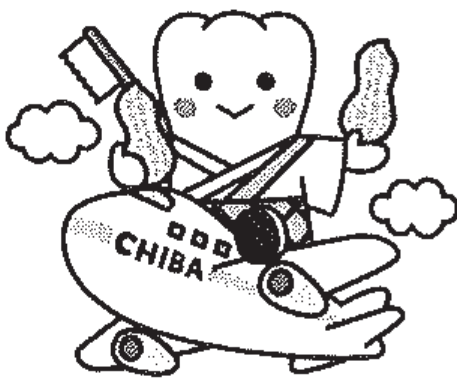
色したり、周囲の歯ぐきが腫
れてきたりすることもあるた
め、けがした歯の状態を定期
的に観察する必要があるま
す。特に乳歯をけがした場合
には、歯ぐきの中の永久歯が
ばい菌に包まれたり、破壊さ
れたりすることもあるので注
意しましょう。

歯のけがには「欠ける」「グ
ラグラする」「抜ける」とさ
まざまな種類があります。し
かし、もし歯が抜けた場合で
も、歯の根の周りで歯と顎の
骨をつなぐ「歯根膜」の組織
が生きているうちに歯を埋め
戻すことができる、後にく
っついてくれる場合もありま

す。

ですから、抜けてしまった
歯はごしごし洗ったりせず、
牛乳や市販の「歯の保存液」
につけるか、ラップにくるむ
などして、できるだけ早く歯
科医院を受診して下さい。

(千葉県歯科医師会)



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さん(千葉県当地版)